

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書  
氷見地区

平成30年3月

富山県氷見市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内人口の減少数	人/年	-161	-110	-241	確定 見込み ●	×	あり なし ●	-239	H29年4月末	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	全国的な傾向である人口減少に加え、中心商店街の空き店舗増加、郊外大規模小売り店舗の進出など、「まちなか」の魅力アップに効果が表れにくかったと考えられる。
指標2	来街観光客数	人/日	2,079	2,850	3,391	確定 見込み ●	○	あり なし ●	3,423	H29年4月末	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たな集客施設である総湯、ひみ番屋街が建設され、まちの集客拠点の強化がなされたことが、来街観光客数の増加につながったものと考えられる。
指標3	湊川リバーウォークの歩行者数	人/年	48,500	49,000	52,400	確定 見込み ●	○	あり なし ●	52,400	H29年4月末	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩行空間の確保や歩行環境の向上などのハード整備事業が実施されたことや、総湯、ひみ番屋街が建設され、集客拠点の強化がなされたことが、歩行者数の増加につながったと考えられる。
指標4	地区内イベント参加者数	人/年	178,016	176,000	168,971	確定 見込み ●	○	あり なし ●	179,695	H29年4月末	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新規開催ひみ永久グルメ博や藤子不二雄(A)氏関連のイベントに多くの参加者が見られ、かつ駅前広場整備の効果やポケットパークなどの整備が、歩行者数の増加につながったと考えられる。
指標5	漁村文化に関する学習会・研修会の開催数	回/年	11	30	35	確定 見込み ●	○	あり なし ●	—	—	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	旧海鮮館をリニューアルして建設された漁業交流館魚々座において、文化交流関係のイベント・会議が定期的に開催されたためと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H 年月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	—
その他の数値指標2	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H 年月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	—
その他の数値指標3	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H 年月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	—

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	まちの集客拠点の維持・向上	総湯、ひみ番屋街の建設による、まちの集客拠点の強化。	来街観光客数が増加した。	施設の維持管理やイベント・活動の運営において、積極的な住民参加を促進する仕組みづくりが必要。
	歩行環境および回遊性の向上	道路改良(防護柵・カラー舗装の設置など)や歩道のバリアフリー化による歩行環境整備。	歩行者空間の快適性が向上した。	道路や歩道などのハード整備事業、積極的な住民参加を支援するシステムづくり、拠点間の回遊性を担保する二次交通の充実が必要。
	住環境の向上及び気軽に滞在できる空間の創出	住まいや移住に関する8つの補助金制度を策定。また、移住希望者に対して、体験型ゲストハウスや移住コンシェルジュによるサポートを整備。	移住、定住に対して幅広い対応が可能となった。	空き店舗・空き地の利活用に関するシステムづくりや各種規定・基準の見直しの実施。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	各種集客拠点の連携	まちなかを舞台にした、ひみまつりやひみ永久グルメ博、藤子不二雄 <sup>®</sup> 氏関連のイベントの実施。	各拠点を巡る来街観光客数が増加した。	協働イベントの開催、施設間での共通ポイントシステムの制定。
	住民・各種団体による主体的な取組みの支援	市内で創業する方を対象に、氷見市創業支援事業補助金制度の創設。	氷見市の特性を生かした創業により、産業の振興、新規雇用の創出及び定住促進を図ることが可能となった。	活動支援制度の構築、一時的な支援金の提供、行政広報誌を活用したPR活動支援が必要。
	まちなかの回遊性を向上させる情報提供の仕組みの構築	氷見市観光協会にて、見どころやイベント等を紹介する氷見市観光パンフレットや氷見の街散策マップを配布。	まちなかを回遊する来街観光客数が増加した。	電子情報案内板の設置、市街地内で使用できるWi-fiスポットの設置。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—	—	—	—